

全社取組の変化：業務標準化⇒業務改善へ活動強化

【NSKステアリングシステムズ株式会社】

I. 活動の種類

【 1.運営事例】

【 2.テーマ事例】

- TOPの理解と関心
- 活動の意義と嬉しさの体験
- ほめる
- 事務局の充実による牽引力強化
- 計画的な指導員育成
- 業務改廃
- 活動の目的とゴール明確化と実行
- その他()
- プロセス改善
- 再発防止
- その他()

II. アピールポイント

自工程完結の考え方を使った全社活動運営について、FY2012全社取組スタート時からFY2017まで、**変えてない事・変えた事**を紹介します。
 ⇒何の為の活動か？
 ⇒「やるべきこと」はいったい何なのか？
活動意義について原点回帰した事例です。

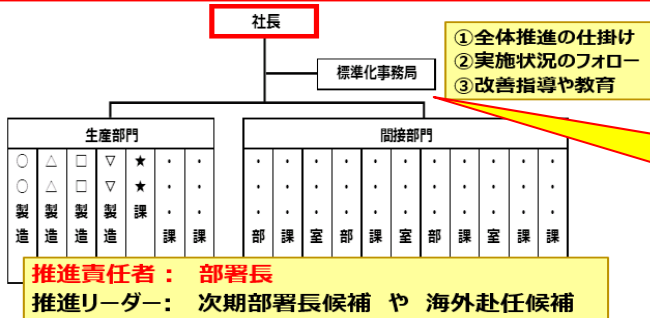
III. 背景

全社取組スタート時(FY2012)当初は、急拡大する海外展開の中で、**このままでは国内外の技術や品質の移管と伝承が出来ない、と言う危機感からJKKの考え方を使った業務標準化**の活動がスタート。その後毎年振り返り進め方を見直しながらか活動を推進しています。

IV. 運営の変遷

【変えてない事 その1】： 推進組織

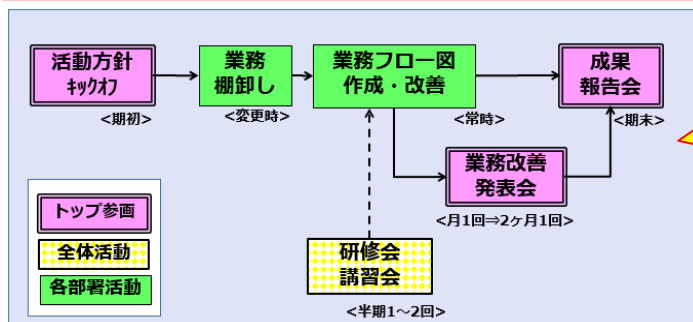
自工程完結はマネジメントそのもの ⇒ 役員、部署長 が牽引



但し、FY2017から事務局機能強化 ISO推進部隊が合流し 業務改善とQMS(品質マネジメントシステム)改善を一体化させた

【変えてない事 その2】： 基本的な活動の流れ(毎年・毎月・定期)

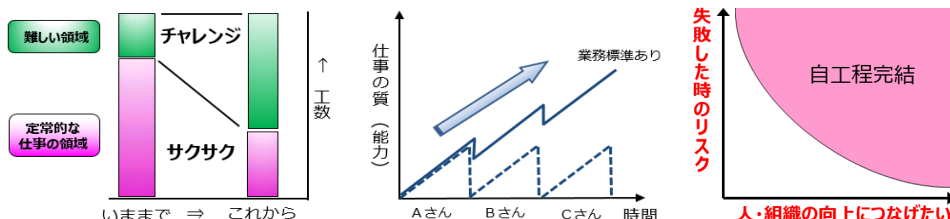
『学ぶ場』『褒める場』など仕組み・仕掛けを整備し、活動を活性化 計画した事を愚直に実行しPDCAを回す



これに加えFY2017からは「自主点検」を各部署長と事務局が月1回実施して、プロセスの弱い部分を認識し合っている。

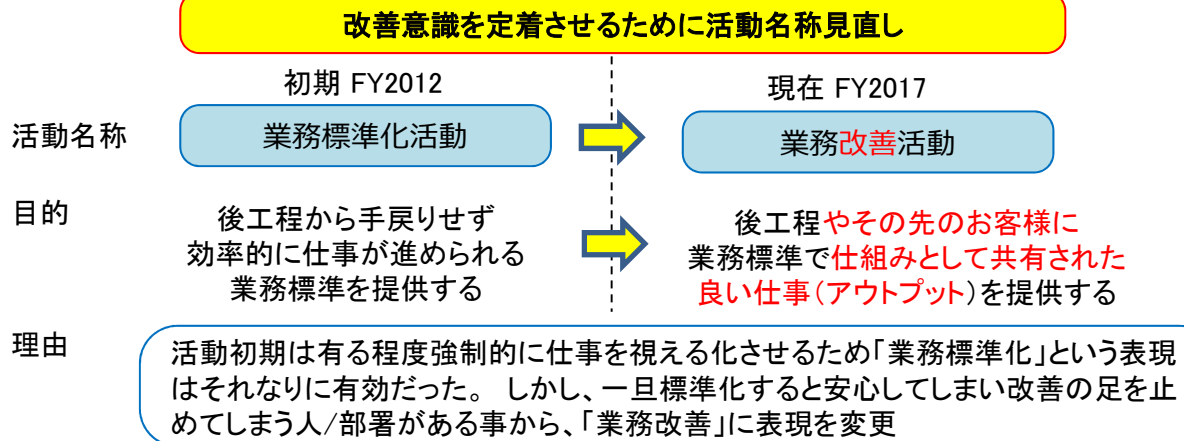
【変えてない事 その3】： 自工程完結の考え方を導入した意図を語る

全体が集まる度に何でこういう活動をするのかを必ず語る



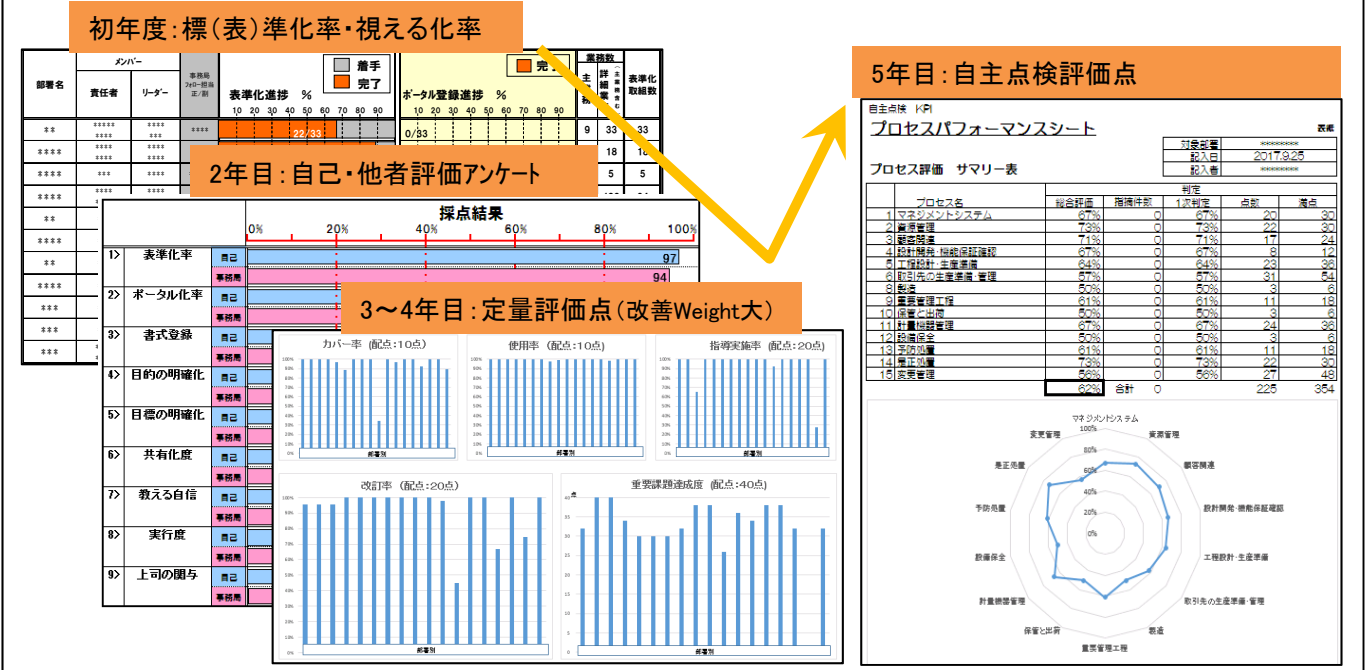
IV. つづき

【変えた事 その1】: 活動名称・目的の表現



【変えた事 その2】: KPI (活動指標)

導入初期～現在までに毎年 KPIと目標値を見直しながら運営



V. 結果、今後の進め方、所感

1) 実施結果・所感

- ① 業務改善の活動をQMS(品質マネジメントシステム)に落とし込み、愚直に活動を継続する事で、確実にプロセス重視の考えが定着してきている。
- ② 業務改善については、登録テーマは進めるものの、「テーマ活動のため」から脱却できていない職場はまだ多い。
- ③ せっかく視える化した業務を使用する仕組みが甘く、自立的に足跡を残しながらPDCAを回せるレベルの職場はまだ多くない。

2) 今後の進め方

- ① 基本的な活動は継続
- ② 「テーマ活動のため」から脱却させる運営
- ③ うれしさや気付きを得られる活動・仕組み作り
 - ・モチベーションがあがる教育・指導方法の研究と導入
 - ・トヨタ様やJKK取組他社様との情報共有による気付きを自社活動へ生かす